

・花いっぱいプロジェクト①

首里を、今よりもっと花いっぱいのまちに。
そんな思いから始まったプロジェクトです。

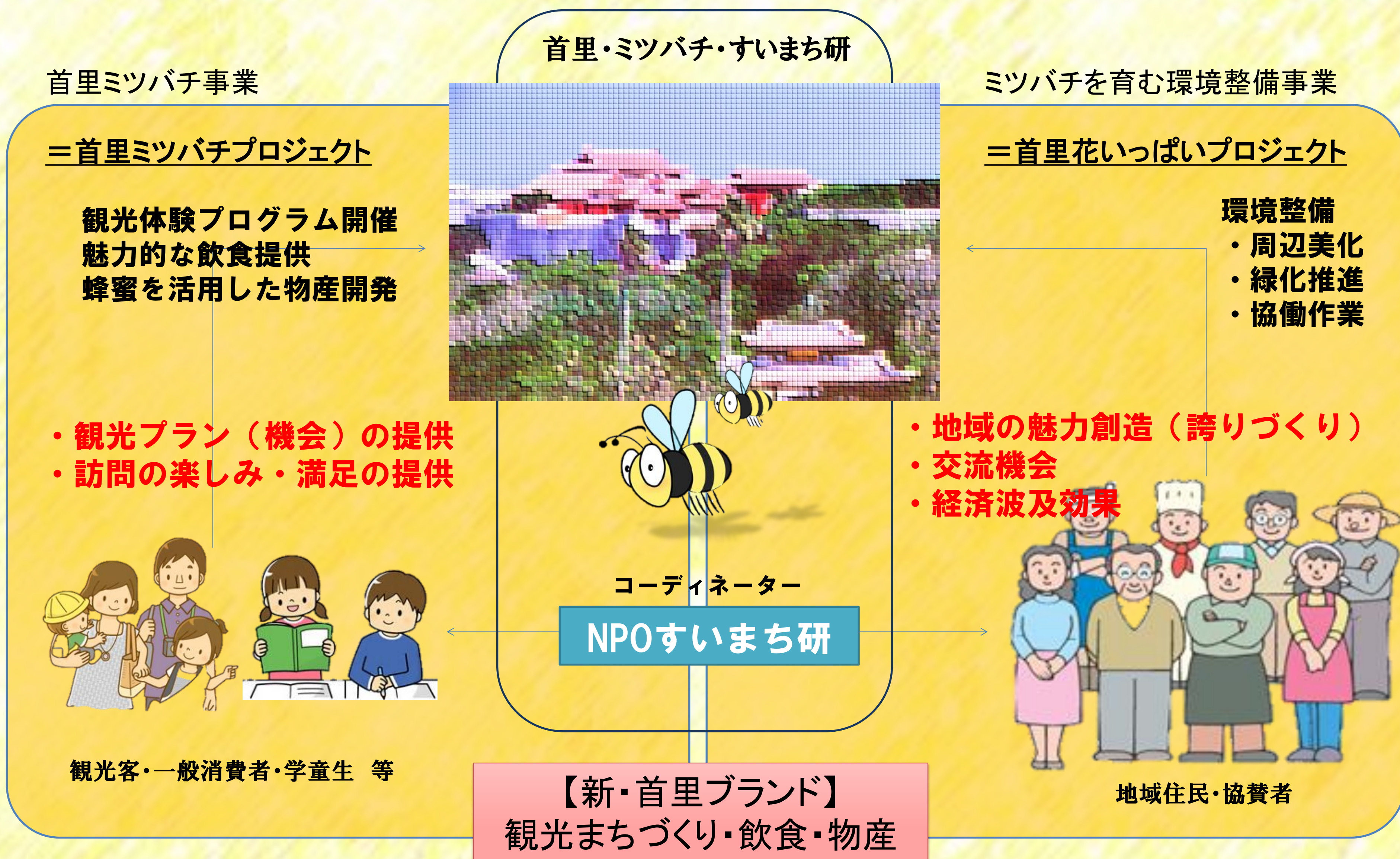
首里ミツバチ・花いっぱいプロジェクトは、2015年に沖縄県が実施する「戦略的課題解決型観光商品等支援事業」の採択を受け、スタートしました。

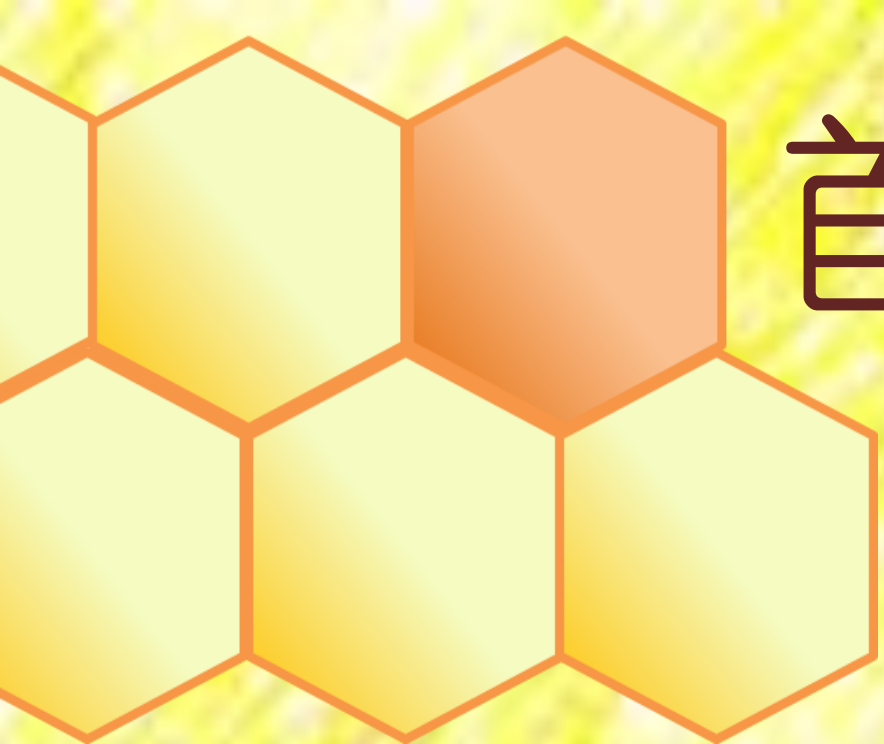
～首里をもっと花いっぱいのまちにしたい。～
そんな思いをミツバチたちの力を借りて推進しています。

自然との共生、環境を守り、より豊かに。
ミツバチとの関わりを通じてより良いまちに。

ミツバチは花と緑、きれいな水が豊かな場所でないと生きていく事は難しく、「環境指標生物」とも呼ばれています。つまり、ミツバチが元気に活動できるまちは、それだけ緑が豊かでクリーンな環境だということ。また、ミツバチが受粉に一役かった樹木には、実を食べようと鳥など他の生き物が集まって来ます。ミツバチを介して、大人も子どもも自然と共生する環境学習ができるのです。

ミツバチの飼育を通じて、首里の環境と生態系を感じ、魅力的な地域環境を育む事を推進するとともに、採れたハチミツ等を用いて観光客と住民が首里の街との共生を感じ、誇れる地域まちづくりを行うプロジェクトです。





・花いっぱいプロジェクト②

1427年から、 首里は花の都でした。

現存する琉球最古の金石文(きんせきぶん)、安国山樹華木之記碑(あんこくざんじゅかぼくのきひ)によると、宣徳2年(1427年)、尚巴志(しょうはし)王の時代に人工池の龍潭(りゅうたん)を掘り、その土を盛って山を築き、マツ、カエデ、カシなどと、諸国の珍しい樹華を植えて人々の憩いの場として整備したと記録されています。

19世紀後半、首里を訪れたペリー提督は、首里より清潔なまちを見たことがないと語り、英艦レナード号で来琉したスミスは、中山門から守礼門にかけての綾門大道(あいじょううふみち)について美し灌木や花園が道路の両側を飾ると書いています。その美しいまちなみは戦禍で失われてしまいましたが、戦後も首里の人々は庭先に木を植え、花を咲かせて、緑ゆたかな王都の姿を取り戻そうとしてきました。

1992年、御百浦添御殿(うむんだすいーうどうん)(首里城正殿)が復元・公開され、首里城公園は沖縄きっての観光地になりました。世界中から人々が訪れるようになった今、もう一度、花咲く王都のすがたについて考えてみませんか。

ミツバチでまちづくり。

まちなかで元気に飛び回ったミツバチは、おいしいはちみつを作ってくれます。ご近所で採れた安心安全なはちみつで、地域のお店がオリジナル商品を開発することも可能。実際に全国各地で、ミツバチでコミュニティを盛り上げる試みが行われています。首里を花いっぱいにするには、私たち自身が自然と共生するまちをつくっていくことと深くリンクしているのです。



・花いっぱいプロジェクト③

首里ミツバチ・花いっぱいプロジェクトでは、こんなことをしています。

首里を今よりもっと花でいっぱいのまちにしたい。
ミツバチを通して、みんなで「自然との共生」について考えたい。
首里生まれのはちみつで、首里を盛り上げたい。
そのために、このプロジェクトではこんな活動をしています。
参加ご希望の方は、首里まちづくり研究会(TEL: 050-5309-5336)までお問い合わせください。



採蜜体験プログラム

実際にミツバチの巣箱を見学して、蜂蜜を絞る工程を体験する採蜜体験会を開催しています。

まずミツバチの生態などについてレクチャーを行い、巣箱とミツバチを観察、その後、巣からはちみつを絞って試食を行います。
プロの養蜂家が安全面に配慮して開催しており、参加者の年齢に合った内容で学習できるよう構成してます。



花の都首里ミツバチさんぽ

花咲く琉球の都・首里をミツバチの視線で歩く、まちあるきプログラムを開発。一般的な観光コースとは少し内容が異なり、首里の花と緑、ミツバチの生態、そして歴史・文化の話を交えながらのオリジナルコースとなっています。



「首里王朝蜂蜜」の販売・活用

首里で咲いた花の蜜から採取された100%天然蜂蜜を、首里だけで購入できる特産品として首里地域の提携店で販売しています。

詳しくは公式ホームページをご覧ください。

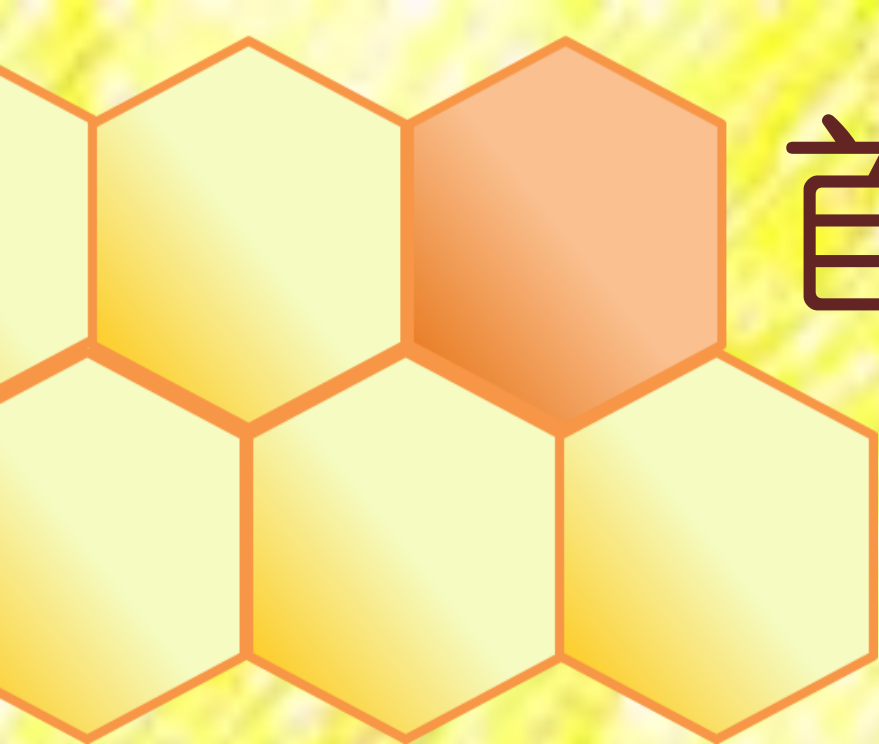
→[首里王朝蜂蜜] で検索ください。

<http://honeybee.e-sui.com/>

首里 王朝蜂蜜



Shuri Royal Honey



・花いっぱいプロジェクト④

植えよう！咲かせよう！
沖縄で咲く蜜の採れるお花たち！



美味しいハチミツの原料となる植物を「蜜源植物」といいます。
沖縄の気候にあった蜜源植物の開花カレンダーを作成しましたので、ぜひ参考に、職場やご家庭の庭先に蜜源植物の花を咲かせてください。

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		サシグサ(センダングサ)							サシグサ(センダングサ)		
ピンクボール				クロヨナ			クロヨナ				
イッペー				月桃							
				ホルトノキ							
				ドラゴンフルーツ							
				ニトベカズラ							
ローズマリー										ローズマリー	
ツワブキ						ナーベラー(ヘチマ)、ゴーヤー			ツワブキ		
				シマシャリンバイ					ビワ		
		ネズミモチ			サルスベリ						
		フジ			サルビア						
					アサヒカズラ						
								トックリキワタ			
						アレカヤシ、トックリヤシ、シンノウヤシ、ビロウ					
		チシャノキ									
		ナスタチウム(ノウゼンハレン、キンレンカ)									
ポインセチア					サガリバナ				ポインセチア		
		シャリンバイ									
ピンクボール								ピンクボール			
カンヒザクラ											
	ライチ										

参加しよう！
「首里緑化まちづくりコンテスト」

首里緑化まちづくり
コンテスト

本コンテストは、緑化の意義や効果をより多くの人に伝えるため、花や緑に関する様々な分野の関係者が連携を図り、また、賛同する行政・企業・個人等のご支援・ご指導等をいただき毎年開催するものです。

「古都首里らしくうるおいと風格のあるまちづくり」として、緑化の取組を首里全体の運動として推進します。

自薦他薦を問わず、首里地域の沿道から見える「花がいっぱいの風景」「緑の豊かな風景」「首里らしい風格のある風景」をおさめた写真を公募。花と緑のあるまちなみづくりに貢献している個人や団体を表彰しています。

このコンテストにより、首里地域の緑化の一層の普及推進を図り、豊かな生活の実現に寄与することを目的としています。

花いっぱいでもいいね部門



首里当蔵町

過去の入賞作品